

ヴォルフガング・シュルツ氏の来日中止に伴う出演者変更のお知らせ

2013年3月7日（木）に紀尾井ホールで行われる『ヴォルフガング・シュルツ & 小林沙羅 スペシャルコンサート』に出演を予定していた、ヴォルフガング・シュルツ氏は病気のため来日中止となりました。ヴォルフガング氏の推薦もあり、ウィーン国立歌劇場のフルーティスト、マティアス・シュルツ氏に奏者を変更し当コンサートを開催いたします。既にチケットをご購入頂きました皆様におかれましては同チケットにてご入場いただけます。ヴォルフガング・シュルツ氏の演奏を楽しみにお待ちいただいた皆様にお詫び申し上げるとともに、何とぞ事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

払戻しをご希望のお客様には本日より3月7日（木）まで受け付けいたしますので、下記問い合わせ先にご連絡頂き手続きをお願いいたします。問い合わせ先：03-6418-1008（Kトレーディング株式会社）

#### 公演概要

『マティアス・シュルツ & 小林沙羅 スペシャルコンサート』  
ウィーン国立歌劇場フルーティスト、マティアス・シュルツとオペラ界のニュースター、小林沙羅が贈る魅惑のコラボレーション。

#### 出演：

マティアス・シュルツ（フルート）  
小林沙羅（ソプラノ）  
大須賀恵里（ピアノ）

会場 紀尾井ホール

#### 公演スケジュール

2013年3月7日（木） 19:00 開演（18:30 開場）

#### チケット料金

S席 5,500円 A席 5,000円 B席 4,500円 学生席 2,500円（全席指定・税込）

#### 《曲目》

グノー：歌劇《ファウスト》より 宝石の歌（Sop.）  
フォーレ：ファンタジー（Fl.）  
ラヴェル：魔法の笛（Fl. Sop.）  
サン＝サーンス：見えない笛（Fl. Sop.）  
ドニゼッティ：フルート・ソナタ（Fl.）  
ベッリーニ：歌劇《夢遊病の女》より “お仲間の方々…気も晴れ晴れと（Sop.）  
多忠助：宵待草（Sop.）  
山田耕作：赤とんぼ（Fl.）  
橋本國彦：《四季の組曲》より 春の組曲（Fl. Sop.）  
J. シュトラウス：ワルツ「心音」（Fl.）  
J. シュトラウス：喜歌劇《こうもり》より “公爵様、あなたのようなお方は”（Fl. Sop.）  
※やむをえない事情により内容に変更が生じる場合がございます。

公演ホームページ <http://www.ktrading.co.jp/>

## <プロフィール>

### マティアス・シュルツ（フルート）

Matthias Schulz, Flute

マティアス・シュルツは2005年3月よりウィーン国立歌劇場管弦楽団のフルート奏者。1972年ウィーンに生まれ、ウィーン国立音楽大学において父親であるヴォルフガング・シュルツのもとでフルートを学び、1996年に首席ディプロマを取得。ジュネーブ音楽院でマクサンス・ラリュエの元でさらに研鑽を積む。1989年には「青少年演奏家」コンクールで一位となる。ソリストとしてウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団、リンツ・ブルックナー室内管弦楽団、ライプツィヒMDR管弦楽団と共演。また室内アンサンブルにおいては近東、日本、南米、フランス、英国、エジプト、トルコ、ドイツなどの各地で演奏を行い、国際的に活躍している。ウィーン放送交響楽団、ウィーンフォルクスオーパー交響楽団、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団において、首席フルート奏者として客演を重ねている。また、ウィーン・フィル及びウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に編成されたトヨタ・マスター・プレイヤーズでは2000年～2012年にかけて数多く来日し日本全国ツアーにも参加している。長年に渡り、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に出演しており、ウィーン・フィル、ウィーン室内管弦楽団とも常に協力関係にある。

### 小林沙羅（ソプラノ）

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。ウィーン在住。2010年度上期野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2011年兵庫にて佐渡裕プロデュースオペラ『こうもり』にアデーレ役で出演。ウィーンフィルメンバーやカウンターテノールのJ・コヴァルスキーらと共演。2012年2月にソフィア国立歌劇場にて「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ役で欧州デビュー、3月には同歌劇場に「愛の妙薬」アディーナ役で出演した。『トゥーランドット』リユー役（井上道義指揮）、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル役（下野達也指揮）、千住明・松本隆による新作『隅田川』『源氏物語』（大友直人指揮）の他、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九交響曲」、ハイドン「天地創造」、マーラー「第四交響曲」、フォーレ「レクイエム」などにもソリストとして出演。読売日本交響楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢などと共演を重ねる。また、長野県小布施町にてソロリサイタルを重ね多くの日本歌曲を取り上げる、現代詩表現グループ<VOICE SPACE>に所属、谷川俊太郎氏らと共演を重ねるなど、詩の朗読や日本の歌、新曲演奏にも力を入れている。〈サイトウ・キネン・フェスティバル〉〈ラ・フォル・ジュルネ音楽祭〉参加、映画「のだめカンタービレ」での歌唱、「題名のない音楽会」出演などでも注目を浴びる。

小林沙羅オフィシャルサイト：<http://www.sarakobayashi.com/>

### 大須賀恵里（ピアノ）

東京都出身。桐朋学園大学音楽学部卒業、寺西昭子氏に師事。1983年、蓼科高原音楽祭で音楽祭賞を受賞。その後、数回にわたり渡欧しフィリップ・アントルモン、ペーター・ラングに教えを受ける。また、京都フランス音楽アカデミーにて室内楽ピアノをクリスチャン・イヴァルディに師事。高い評価を受け、以後当アカデミーの公式伴奏者として招かれる。1995年、ニューヨーク・フィルハーモニックのメンバー、V. ツィピン(Vn) E. ベネデッティ(Vc)からなる「ザ・ニューヨーク・トリオ」のピアニストに選ばれ、国内5都市での来日公演に出演した。徳永兼一郎(Vc)、原田幸一郎(Vn)、毛利伯郎(Vc)、ペーター・ヴェヒター(Vn)など、内外の著名演奏家と数多く共演する他、R・パスキエ、G・プーレ、J-P・ヴァレーズ、W・マシュナー、D・ゲーデなど著名ヴァイオリニストのマスタークラスのピアニストを務め、貴重な室内楽ピアニストとして高い評価を受けている。1995年に始めた「大須賀恵里ピアノ室内楽演奏会」は広く好評を博し、2005年4月第7回公演は、オクタヴィアレコードよりCD発売された。2010年3月まで、長きにわたり桐朋学園大学音楽学部弦楽科嘱託演奏員を務め、同年夏より 景山誠治(Vn)、景山裕子(Vn)と共に「蓼科クロイツェル音楽祭」を主催している。